

# 中学校給食の導入に係る 教育委員会検討会の結果について

(H26.2)

## 「中学校給食導入の方向性」

- ◇ 中学校給食を導入する
- ◇ デリバリー給食とする（調理・配送委託方式）
- ◇ 全員給食を原則とする



# デリバリー給食とは

☆民間事業者に給食の調理・学校への配送を委託する方式

☆献立作成、食材選定・調達、調理方法の指示は全て教育委員会（栄養士）が行います

## ●特徴

- ・栄養バランス、食育の推進に優れている
- ・施設整備費が抑えられる、早期導入が可能
- ・配膳、片付け時間が短時間（カリキュラムへの影響少ない）

## ●課題

- ・適温給食ができない・・・米飯はほんのり温かい、おかずは常温程度
- ・アレルギー対応が困難

# 給食方式の比較・検討

○次の項目について検証し、7つの観点で給食方式を比較検討した上で総合的に判断し決定！

- ・給食実施校への視察
- ・アンケート調査結果
- ・施設整備費、維持管理費推計
- ・本町の財政状況

観点\方式	自校給食	給食センター	親子方式	デリバリー
①栄養バランス(食育)	○良い	○良い	○良い	○良い
②アレルギー対応	○可能	○可能	○可能	X不可
③食事量の調節	△難しい	△難しい	△難しい	△難しい
④導入までの期間	△長期	△長期	△長期	○短期
⑤法的課題(都市計画法)	○なし	△あり	X不可	○なし
⑥財政的負担	△大きい	△大きい	△大きい	○小さい
⑦学校カリキュラムへの影響	△あり	△あり	△あり	○なし

# 給食方式別の経費比較

経費\方式	自校給食	給食センター	親子方式	デリバリー給食
初期投資額	4.5億円	10億円	4億円	1,000万円
維持管理費 ／年	3,500万円	8,000万円	3,500万円	3,000万円
30年間経費	20億円	25億円 ※現小学校分差引済	19億円	9億円
備考	2校分	4校分 (小学校含)	2校分	2校分

※給食費は、小学校給食費と同様に、食材購入費分を徴収しますので、給食方式による変動はありません。

# デリバリー給食とした理由

- ☆「学校給食の主旨を保ちつつ、早期導入できる最も有効、かつ現実として可能な方法」
- ☆「初期投資額が抑えられるため、他の方式へ転換する場合でも、初期投資が無駄にならず、状況に応じて柔軟な対応が可能」

## ※自校方式について（小学校実施）

食育の推進や温かい食事など、給食として理想的な方式ということは、教育委員共通の認識でした。しかし、施設整備費・人件費・維持管理費などの財政的課題や建設地の確保、給食開始までに要する期間、学校カリキュラムへの影響などの課題を考慮すると、現段階では実現が難しいと判断しました。

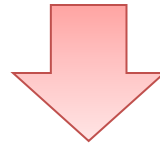
# 生徒全員の給食実施

## ◇学校給食の主旨・目標（学校給食法より）

☆児童生徒の心身の健全な発達

※小学校から中学校までの9年間を支える

- ・適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図る
- ・学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養う
- ・我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深める
- ・食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導く



教育の一環として **「生徒全員の給食を実施」**

※アレルギー対応などをやむを得ない事情により、一部家庭弁当との選択制も実施

# デリバリー給食について

「デリバリー」という名称のイメージ ⇒ 配達される業者弁当？

☆小学校の自校方式給食同様に

- ・**町栄養士が、栄養バランスを考えて  
献立を作ります！**
- ・**安全な食材を町栄養士が調達します！**
- ・**委託業者を指導・監督した上で  
提供される給食です！**

# 「中学校給食の導入に係る教育委員会 検討会意見書」

- ・ 給食実施校の視察
- ・ アンケート集計結果
- ・ 給食方式別の特徴と課題
- ・ 給食方式別の経費比較
- ・ 大磯町の財政状況 など、検討内容の詳細は…



**大磯町ホームページ・大磯町情報コーナーに掲載中！**

～「大磯町 中学校給食の検討」で検索～